

四半期運用レポート

2016年1月～2016年3月

目次	ページ
1 特別勘定の種類と運用方針	2
2 運用環境	3
3 特別勘定の運用状況	4
4 ≪参考情報≫ 投資信託の運用状況	5～11
5 リスクおよび諸費用	12

利用する投資信託の委託会社のご紹介

アライアンス・バーンスタイン株式会社



アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。グローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSGIは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託		参照ページ
			投資信託名	委託会社	
安定成長 バランス型	日本 株式 20%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式20%、 外国株式20%、日本債券30%、 外国債券30%とし、一定の規律に 従いリバランス*1を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	6
	外国 株式 20%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	7
	日本 債券 30%		ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (上段)
	外国 債券 30%		ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (下段)
積極運用 バランス型	日本 株式 25%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式25%、 外国株式35%、日本債券20%、 外国債券20%とし、一定の規律に 従いリバランス*1を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	6
	外国 株式 35%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	7
	日本 債券 20%		ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (上段)
	外国 債券 20%		ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (下段)
特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		参照ページ	
		投資信託名	委託会社		
日本株式 プラス型	日本 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	6	
外国株式 プラス型	外国 株式 100%	アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	7	
世界債券 プラス型	世界 債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3	アライアンス・バーンスタイン株式会社	8	
オーストラリア 債券型	オース トラリア 債券 100%	アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド (適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	9	
新興国 株式型	新興 国株 式 100%	ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	10	
金融 市場型	短期 金融 資産 100%	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	11	

※ 利用する投資信託の運用方針は、参照ページにある運用方針をご覧ください。

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。

なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※ 安定成長バランス型、積極運用バランス型および外国株式プラス型で利用していた「適格機関投資家私募アライアンス・バーンスタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド-1」は、2015年5月26日に償還され、2015年4月から新たに「アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド<適格機関投資家私募>」に投資しております。

※ オーストラリア債券型および新興国株式型は、2015年5月1日に設定されました。

・ 2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2016年1月～2016年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前期末比△12.93%下落の1,347.20ポイントで終了しました。

1月から2月中旬にかけて、中国経済への不安が高まったことなどから大幅に下落した後、日銀のマイナス金利導入が好感され上昇に転じましたが、その後、急激な円高に加えて、10年国債利回りがマイナスとなり、運用環境の悪化懸念から金融株が売られたことなどから、大幅反落しました。2月下旬以降は、原油価格の動向や各国の追加金融緩和を巡る思惑などから、小幅に揉み合いながら推移しました。

業種別(東証33業種)では、当四半期で上昇した業種はなく、日銀のマイナス金利政策による収益への悪影響が懸念された「銀行業」(前期末比△29.35%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、1月から2月中旬にかけて、中国株式の下落などを受けて大幅に下落した後、原油相場の反発などで上昇する場面もありましたが、米国の先行きの景気減速が懸念されたことなどから再び下落しました。2月下旬以降は、先行きの米国での利上げペースが緩やかとの見方が強まったことなどから大幅に上昇しました。NYダウは、前期末比+1.49%上昇の17,685.09ドルで終了しました。

欧州株式市場は、1月から2月中旬にかけて、中国株式や原油価格の下落などから、大幅に下落した後、ECB(欧州中央銀行)総裁が追加金融緩和を示唆したことなどから上昇に転じましたが、独大手銀行が社債の利払いに窮する可能性が観測されたことなどから再び下落しました。2月下旬以降は、追加金融緩和観測などから上昇した後、ユーロ圏の堅調な経済指標の一方、ベルギーでのテロなどを材料に、小幅に揉み合う展開となりました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比△1.08%下落、仏CAC40は同△5.43%下落、独DAXは同△7.24%下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、1月に日銀がマイナス金利導入を決定したことなどから、金利は急低下(価格は上昇)した後、欧米の金利上昇の影響を受けて小幅に上昇(価格は下落)する場面もありましたが、プラスの利回りを求めて超長期国債を買う動きが加速したことなどから、マイナス圏に突入して期を終えました。新発10年国債利回りは△0.050%となりました(前期末は0.270%)。

無担保コール翌日物金利は概ね0.0～0.1%近辺で推移していましたが、その後日銀が一部当座預金にマイナス金利を適用したことを受けて水準を切り下げ、概ね△0.02～0.01%近辺で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、1月から2月中旬にかけて、米国や中国の景気感悪化で世界の景気減速が懸念されたことなどから、金利は大幅に低下(価格は上昇)しました。2月下旬以降は、米経済指標の良好な結果や、FRBによる利上げ観測などから上昇(価格は下落)した後、米国での利上げペースが緩やかになるとの見方が強まったことなどから低下基調で推移し、米10年国債利回りは1.769%となりました(前期末は2.269%)。

欧州債券市場は、1月から2月下旬にかけて、ECBによる追加金融緩和観測や英国のEU(欧州連合)離脱を問う国民投票への警戒感などから、金利は大幅に低下(価格は上昇)しました。3月は、ECBが追加利下げの可能性は低いとの考えを示したことなどから上昇(価格は下落)した後、米国金利に連れる形で低下しました。独10年国債利回りは0.153%となりました(前期末は0.629%)。

FRB(連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.25～0.50%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を0.05%引き下げ、年0.00%としました。

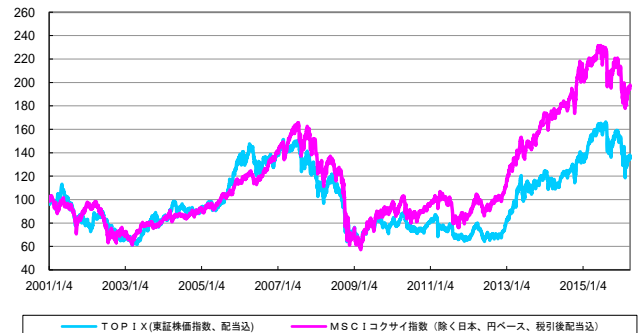
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、前期末比7円93銭円高ドル安の1ドル=112円68銭となりました。1月から2月中旬にかけて、中国経済への懸念や原油価格の下落などにより円高傾向となった後、日銀によるマイナス金利の導入が決定されたことなどから円安に転じましたが、米国での先行きの利上げペースが緩やかとの見方などを受けて、急激に円高が進行しました。2月下旬以降は、原油価格の動向や、各国の追加金融緩和を巡る思惑などから揉み合いで推移しました。

ユーロ/円相場は、前期末比4円07銭円高ユーロ安の1ユーロ=127円70銭となりました。1月から2月下旬にかけて、人民元の下落や原油価格の続落などから円高圧力が高まった後、日銀によるマイナス金利の導入が決定されたことなどから円安に転じましたが、欧州での信用不安の高まりなどから円高が進行しました。3月は、ECB総裁が追加利下げの可能性は低いとの考えを示したことなどから、揉み合いながらも円安基調で推移しました。

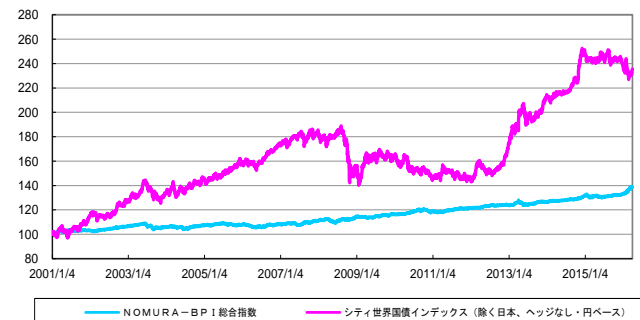
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

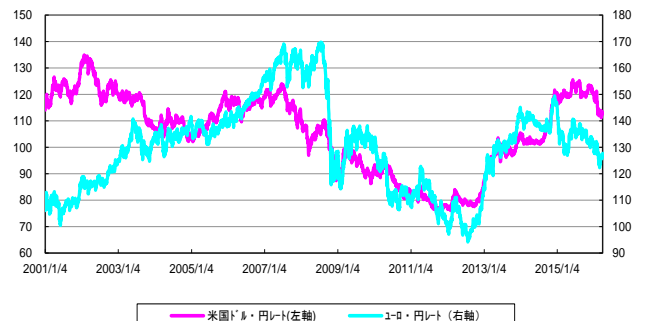


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

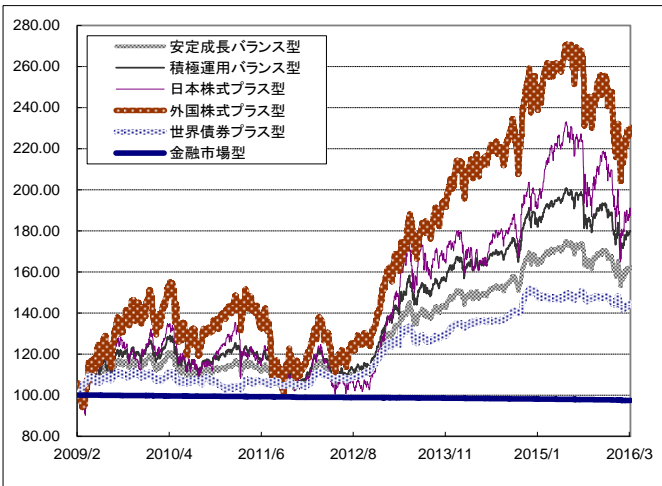
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2016年3月 末日現在]

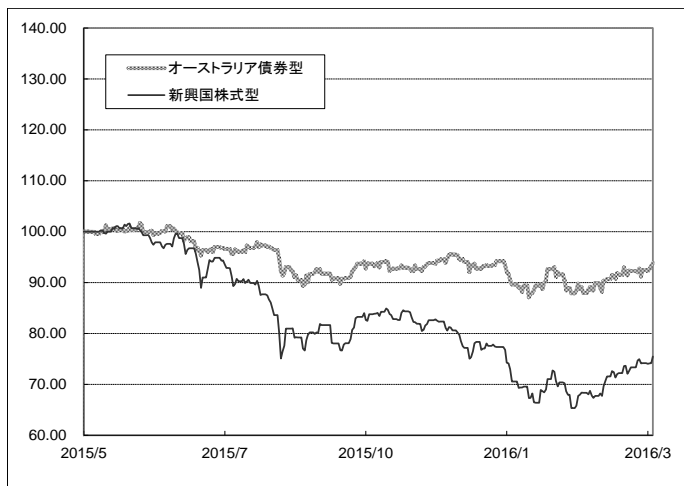
■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

[2009/2/1に運用を開始した各特別勘定のユニットプライスの推移]



[2015/5/1に運用を開始した各特別勘定のユニットプライスの推移]



		安定成長 バランス型	積極運用 バランス型	日本株式 プラス型	外国株式 プラス型	世界債券 プラス型	オーストラリア 債券型	新興国 株式型	金融市場型
ユニ ット プ ラ イ ス	2016年3月末	162.16	179.87	187.33	230.30	144.88	93.82	75.45	97.44
	2016年2月末	157.99	173.93	179.56	218.60	142.73	88.98	68.20	97.42
	2016年1月末	163.93	181.76	196.54	227.71	148.11	92.61	71.01	97.66
	2015年12月末	167.47	189.04	209.66	247.60	146.07	94.19	77.34	97.69
	2015年11月末	169.72	192.44	215.67	254.05	147.47	93.88	81.08	97.72
	2015年10月末	168.79	190.89	211.07	251.78	147.43	92.73	82.81	97.77
騰 落 率 (%)	過去1ヵ月	2.64	3.41	4.33	5.35	1.50	5.44	10.63	0.02
	過去3ヵ月	▲3.17	▲4.85	▲10.65	▲6.99	▲0.81	▲0.39	▲2.45	▲0.26
	過去6ヵ月	▲0.07	▲0.24	▲2.18	0.06	▲1.46	3.41	▲1.55	▲0.37
	過去1年	▲4.54	▲6.75	▲13.40	▲11.24	▲1.75	-	-	▲0.58
	過去3年	22.34	27.16	26.40	40.55	15.64	-	-	▲1.31
	(年率)	6.95	8.34	8.12	12.02	4.96	-	-	▲0.44
	過去5年	40.98	47.10	52.77	57.69	37.03	-	-	▲1.91
	(年率)	7.11	8.02	8.84	9.54	6.50	-	-	▲0.38
設定来	62.16	79.87	87.34	130.30	44.89	▲6.17	▲24.55	▲2.56	

※ オーストラリア債券型と新興国株式型の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2015年5月1日)の前日を100.00として、それ以外の特別勘定は設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	安定成長バランス型			積極運用バランス型		
	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)
現預金・その他	134,762	4.1	-	189,045	4.3	-
その他有価証券	3,125,633	95.9	100.0	4,176,467	95.7	100.0
日本株式	635,183	19.5	20.0	1,053,584	24.1	25.0
外国株式	642,779	19.7	20.0	1,490,741	34.1	35.0
日本債券	920,538	28.2	30.0	812,044	18.6	20.0
外国債券	927,132	28.4	30.0	820,097	18.8	20.0
合計	3,260,396	100.0	100.0	4,365,512	100.0	100.0

項目	日本株式プラス型		外国株式プラス型		世界債券プラス型	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	56,179	4.5	208,992	4.1	54,727	4.8
その他有価証券	1,200,219	95.5	4,878,655	95.9	1,087,467	95.2
合計	1,256,398	100.0	5,087,647	100.0	1,142,195	100.0
項目	オーストラリア債券型		新興国株式型		金融市場型	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	10,604	4.6	16,638	4.6	10,474	4.9
その他有価証券	219,430	95.4	347,822	95.4	201,836	95.1
合計	230,035	100.0	364,460	100.0	212,311	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

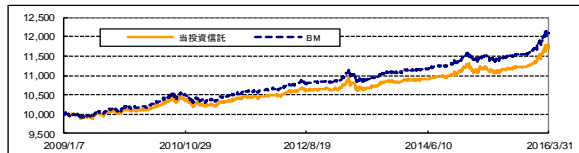
ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

- 「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定>

[2016年3月末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.75%	3.70%	4.62%	5.02%	7.95%	17.16%
BM	0.81%	3.81%	4.84%	5.40%	9.17%	20.79%
差	▲0.06%	▲0.11%	▲0.22%	▲0.38%	▲1.21%	▲3.63%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	第340回利付国債	0.400%	2025年9月20日	1.30%	0.86%
2	第298回利付国債	1.300%	2018年12月20日	1.22%	0.46%
3	第297回利付国債	1.400%	2018年12月20日	0.92%	0.27%
4	第339回利付国債	0.400%	2025年6月20日	0.88%	0.88%
5	第304回利付国債	1.300%	2019年9月20日	0.84%	0.30%
6	第295回利付国債	1.500%	2018年6月20日	0.84%	0.28%
7	第313回利付国債	1.300%	2021年3月20日	0.78%	0.56%
8	第305回利付国債	1.300%	2019年12月20日	0.77%	0.83%
9	第302回利付国債	1.400%	2019年6月20日	0.77%	0.29%
10	第293回利付国債	1.800%	2018年6月20日	0.77%	0.27%
合計				9.09%	5.00%
組入銘柄数				607銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

■当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数²)に連動した投資成果をめざします。
※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

○ 債券種別資産構成比率

	マザーファンド	BM	差
国債	79.14%	81.86%	▲2.72%
地方債	6.12%	5.72%	0.40%
政府保証債	3.81%	3.21%	0.60%
金融債	0.81%	0.82%	▲0.01%
事業債	7.89%	6.62%	1.27%
円建外債	0.67%	0.51%	0.16%
MBS債	1.53%	1.26%	0.27%
コール・その他	0.03%	0.00%	0.03%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

※ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利利回り	0.05%	0.04%	0.01%
平均クーポン	1.37%	1.16%	0.21%
平均残存期間	9.24	9.19	0.04
修正デュレーション	8.77	8.76	0.01

※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

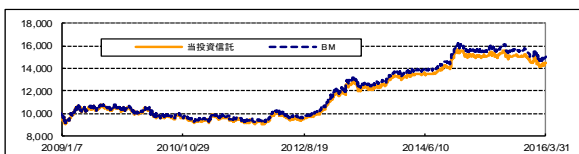
※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

【参考情報】ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定>

[2016年3月末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.74%	▲2.05%	▲3.50%	▲3.83%	23.89%	45.50%
BM	1.80%	▲1.90%	▲3.25%	▲3.32%	25.64%	50.81%
差	▲0.06%	▲0.15%	▲0.25%	▲0.51%	▲1.74%	▲5.31%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2022年2月15日	0.93%	0.20%
2	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2020年1月31日	0.91%	0.15%
3	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2025年2月15日	0.85%	0.42%
4	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2020年9月30日	0.72%	0.13%
5	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2017年9月30日	0.70%	0.15%
6	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2021年2月15日	0.69%	0.32%
7	アメリカ国債	米ドル	8.000%	2021年11月15日	0.69%	0.08%
8	アメリカ国債	米ドル	1.750%	2022年5月15日	0.67%	0.16%
9	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2020年2月15日	0.67%	0.30%
10	アメリカ国債	米ドル	2.375%	2020年12月31日	0.66%	0.15%
合計					7.48%	2.07%
組入銘柄数					443銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

※ ベンチマーク(BM)の比率は2016年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場値で円換算したものです。

■当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(シティ世界国債インデックス³(除く日本、ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート外国債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

○ 組入上位10カ国

順位	国名	マザーファンド	BM
1	アメリカ	42.26%	42.37%
2	フランス	10.01%	10.03%
3	イタリア	9.90%	9.89%
4	イギリス	7.73%	7.82%
5	ドイツ	7.57%	7.59%
6	スペイン	5.58%	5.55%
7	ベルギー	2.68%	2.67%
8	オランダ	2.50%	2.49%
9	カナダ	2.06%	2.06%
10	オーストラリア	1.81%	1.82%
合計		92.11%	92.29%

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利利回り	1.05%	1.04%	0.01%
平均クーポン	3.41%	2.78%	0.63%
平均残存期間	8.25	8.10	0.15
修正デュレーション	6.95	6.92	0.03

※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※ 上記の属性は2016年3月30日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

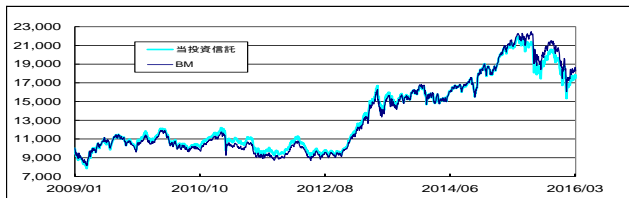
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」「特別勘定 日本株式プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2 [2016年3月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	4.59%	▲11.11%	▲2.03%	▲13.78%	28.78%	75.06%
BM	4.83%	▲12.04%	▲3.39%	▲10.82%	38.19%	82.59%
差	▲0.24%	0.92%	1.36%	▲2.96%	▲9.41%	▲7.53%

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリューストック(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス*を行います。
※ 当投資信託は、主として、バーンスタイン・日本ストラテジック・バリューストック・マザーファンド受益証券、アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券 に投資します。

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数 配当込)⁴です。
- ・ 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の詳細情報

○ 資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリューストックMファンド*	50.00%	49.79%
グロース株Mファンド**	50.00%	50.26%
短期金融資産等	0.00%	-0.06%
合計	100.00%	100.00%

- * バリューストックMファンド: バーンスタイン・日本ストラテジック・バリューストック・マザーファンド受益証券
- ** グロース株Mファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

○ 業種別構成比率

業種	投資信託
1 情報・通信業	11.12%
2 電気機器	10.32%
3 輸送用機器	10.03%
4 小売業	6.96%
5 銀行業	6.66%
6 機械	6.32%
7 陸運業	5.32%
8 医薬品	4.96%
9 その他の業種	36.46%
10 現金等	1.85%
合計	100.00%

○ 市場別構成比率

市場	投資信託
東京証券取引所第一部	98.15%
現金等	1.85%
—	—
—	—
—	—
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	業種	投資信託
1 日本電信電話	情報・通信業	4.58%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.47%
3 日本たばこ産業	食料品	2.72%
4 日産自動車	輸送用機器	2.52%
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.28%
6 オリックス	その他金融業	2.14%
7 本田技研工業	輸送用機器	2.08%
8 JXホールディングス	石油・石炭製品	1.94%
9 三菱商事	卸売業	1.92%
10 トヨタ自動車	輸送用機器	1.89%
合計		25.53%
組入銘柄数		106銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比▲11.11%となりました。一方、ベンチマークであるTOPIX(東証株価指数 配当込)の騰落率は、前四半期末比▲12.04%となりました。(以下、バリューストックMファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別で記載。)
ベンチマークとの比較では、バリューストックMファンドは、セクター配分、銘柄選択ともにマイナス要因となり、生活必需品セクターのアンダーウェイトや、資本財セクターでの銘柄選択などがマイナス要因となりました。グロース株Mファンドは、セクター配分、銘柄選択ともにプラス寄与となり、生活必需品セクターのオーバーウェイトや資本財・サービスセクターでの銘柄選択などがプラス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
引き続き投資スタイルの分散を行い、バリューストックMファンドについては、企業のファンダメンタルズ分析に基づく個別銘柄選択を付加価値の源泉とした割安銘柄のポートフォリオ投資、グロース株Mファンドについては、綿密な個別企業の調査に基づいて、業績および潜在成長力が市場で過小評価されていると考える成長銘柄を中心に投資し、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

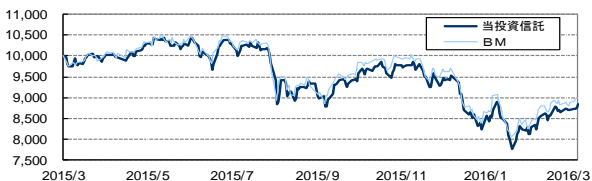
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」「特別勘定 外国株式プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募> [2016年3月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2015年3月23日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名(※1)】アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>
【委託会社(※2)】アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンドの受益証券への投資を通じて日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
※ 当投資信託は、主としてアクサ IM・グローバル(日本除く)株式マザーファンド受益証券に投資します。

※1.2 「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド-1」(委託会社:アライアンス・バーンスタイン株式会社)は、2015年5月26日に償還されました。

■当投資信託の騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	5.81%	▲7.31%	0.43%	▲11.06%	—	▲11.67%
BM	6.16%	▲7.04%	▲0.71%	▲8.60%	—	▲10.18%
差	▲0.35%	▲0.27%	1.14%	▲2.46%	—	▲1.49%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年3月23日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIコクサイ指数⁽⁵⁾(配当込み/グロス/日本円換算)です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国別構成比率

順位	国名	マザーファンド
1	アメリカ	60.39%
2	イギリス	8.29%
3	カナダ	4.40%
4	フランス	4.13%
5	ドイツ	3.74%
6	スイス	3.47%
7	オーストラリア	2.93%
8	オランダ	1.86%
9	その他の国	10.04%
10	現金等	0.75%
合計		100.00%

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

○ セクター別構成比率

順位	セクター	マザーファンド
1	医薬品・バイオテクノライフ	10.01%
2	ソフトウェア・サービス	9.71%
3	銀行	8.61%
4	食品・飲料・タバコ	7.66%
5	資本財	7.01%
6	エネルギー	5.09%
7	小売	4.83%
8	保険	4.83%
9	その他業種	41.50%
10	現金等	0.75%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.00%
2	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	1.79%
3	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノライフ	1.51%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.12%
5	AT&T INC.	アメリカ	電気通信サービス	1.03%
6	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.02%
7	PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノライフ	0.98%
8	FACEBOOK INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.91%
9	COMCAST CORPORATION	アメリカ	メディア	0.86%
10	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.82%
合計				12.03%
組入銘柄数				600銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比▲7.31%となりました。一方、ベンチマークであるMSCIコクサイ指数(配当込み/グロス/日本円換算)の騰落率は前四半期末比▲7.04%となりました。当四半期のグローバル(日本除く)株式市場は、配当利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、少なめに保有していた金属や電力が上昇したことはマイナスに寄与しました。地域別では下落した欧州地域の銘柄を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していたエネルギーのMARATHON PETROLEUM CORP(アメリカ)が下落したことはマイナスに寄与しましたが、多めに保有していた素材のT ECK RESOURCES LTD.(カナダ)が上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、日本を除く世界各国の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

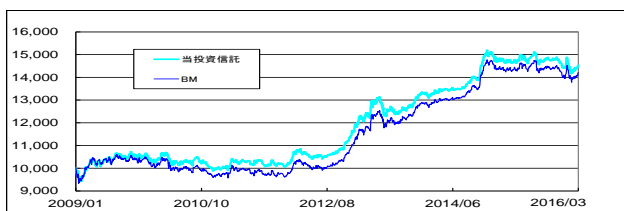
ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

- ・「特別勘定 世界債券プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3 [2016年3月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)を10,000として指数化しています。

■ 当投資信託の騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	1.64%	▲0.76%	▲1.30%	▲1.38%	18.53%	45.30%
BM	1.47%	▲0.24%	▲1.11%	▲0.99%	21.21%	42.07%
差	0.17%	▲0.53%	▲0.19%	▲0.39%	▲2.67%	3.23%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(円ベース)[®]です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国/地域別構成比率

	国名	マザーファンド
1	アメリカ	32.06%
2	日本	15.07%
3	イギリス	13.56%
4	イタリア	10.82%
5	オーストラリア	7.14%
6	スペイン	4.04%
7	フランス	3.66%
8	デンマーク	1.71%
9	その他の国/地域	10.45%
10	現金等	1.50%
合計		100.00%

○ 格付別構成比率

格付	マザーファンド
AAA	53.94%
AA	6.73%
A	21.37%
BBB	16.47%
BB以下	0.00%
現金等	1.50%
合計	100.00%

格付基準:

※ ムーディーズ社またはスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社のうち、いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

債券種別	マザーファンド
1 国債・政府機関債等	86.39%
2 社債	12.11%
3 現金等	1.50%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 イギリス国債	イギリス	2.000%	2025年9月7日	Aa1	AAA	4.32%
2 米回国債	アメリカ	1.500%	2016年6月30日	Aaa	AA+	3.04%
3 オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2021年5月15日	Aaa	AAA	2.95%
4 日本国債	日本	0.300%	2018年3月20日	A1	A+	2.91%
5 イタリア国債	イタリア	1.350%	2022年4月15日	Baa2	BBB-	2.89%
6 日本国債	日本	1.400%	2034年9月20日	A1	A+	2.88%
7 米回国債	アメリカ	0.125%	2019年4月15日	Aaa	AA+	2.28%
8 日本国債	日本	0.100%	2026年3月20日	A1	A+	2.25%
9 オーストラリア国債	オーストラリア	4.250%	2026年4月21日	Aaa	AA+	2.25%
10 イギリス国債	イギリス	1.750%	2022年9月7日	Aa1	AAA	2.21%
合計						27.99%
組入銘柄数						167銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比▲0.76%、一方、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス(円ベース)の騰落率は前四半期末比▲0.24%となりました。ベンチマークとの比較では、マザーファンドにおいて、社債における銘柄選択や、英ポンドを低めの比率とし、日本円を高めの比率とした通貨配分が主なプラス要因となった一方、米国における残存期間戦略などが主なマイナス要因となりました。マザーファンドのポートフォリオでは、国債については、イギリス国債やオーストラリア国債などを買増し、カナダ国債などを一部売却しました。ユーロ圏の国債については、イタリア国債やスペイン国債などを買増し、ドイツ国債やベルギー国債などを一部売却しました。社債については、金融セクターの銘柄など買増し、小売セクターの銘柄を一部売却しました。

委託会社は、世界経済は足元で金融市場に動揺が見られるものの、先進国経済が回復し新興国の景気減速に歯止めがかかることで緩やかな成長が続くと見ています。国債については、日本について、相対的な魅力度の観点から組入れを低めとするほか、ユーロ圏についても、主要国を中心に組入れを低めとする方針です。投資適格社債については、企業ファンダメンタルズは全般には良好であるものの、セクターにより差異が生じているため、投資機会を見極めて組み入れる方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

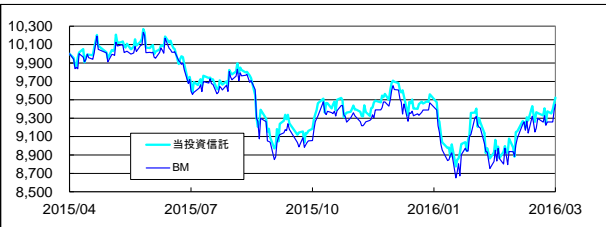
ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

- ・「特別勘定 オーストラリア債券型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用） [2016年3月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2015年4月10日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）
 【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアドル建の国債、州政府債、国際機関債および事業債などの公社債に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス⁷(円換算)をベンチマークとします。
 ※ 当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	6.02%	▲0.39%	4.19%	-	-	▲4.77%
BM	5.74%	▲0.20%	4.86%	-	-	▲5.51%
差	0.28%	▲0.19%	▲0.67%	-	-	0.74%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年4月10日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス⁷(円換算)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 オーストラリア	93.97%
2 香港	2.25%
3 ドイツ	1.47%
4 -	-
5 -	-
6 -	-
7 -	-
8 その他の国/地域	0.00%
9 債券先物	0.00%
10 現金等	2.31%
合計	100.00%

○ 格付別構成比率

格付	マザーファンド
AAA	93.18%
AA	4.51%
A	0.00%
BBB	0.00%
BB以下	0.00%
債券先物	0.00%
現金等	2.31%
合計	100.00%

格付基準:

※ ムーディーズ社またはスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社のうち、いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

債券種別	マザーファンド
1 国債・政府機関債等	93.18%
2 社債	4.51%
3 債券先物	0.00%
4 現金等	2.31%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2018年10月21日	Aaa	AAA	15.94%
2 オーストラリア国債	オーストラリア	5.250%	2019年3月15日	Aaa	AAA	15.69%
3 オーストラリア国債	オーストラリア	4.250%	2026年4月21日	Aaa	AAA	11.03%
4 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2025年4月21日	Aaa	AAA	10.25%
5 オーストラリア国債	オーストラリア	5.500%	2023年4月21日	Aaa	AAA	8.04%
6 オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2022年7月15日	Aaa	AAA	6.20%
7 オーストラリア国債	オーストラリア	6.000%	2017年2月15日	Aaa	AAA	6.08%
8 オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2021年5月15日	Aaa	AAA	5.18%
9 オーストラリア国債	オーストラリア	4.500%	2033年4月21日	Aaa	AAA	4.01%
10 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2029年4月21日	Aaa	AAA	3.88%
合計						86.32%
組入銘柄数						15銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比では▲0.39%、一方、ベンチマークであるブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス(円換算)の騰落率は前四半期末比では▲0.20%となりました。

ベンチマークとの比較では、マザーファンドにおいて、金利の動きに対する感応度を小さめとしたことはマイナス要因となりました。マザーファンドのポートフォリオでは、オーストラリア国債を中心に投資を行うとともに、相対的な魅力度が高いと判断したオーストラリアドル建ての社債への投資も行いました。

委託会社は、世界経済は足元で金融市場に動揺が見られるものの、先進国経済が回復し新興国の景気減速に歯止めがかかることで緩やかな成長が続くと見られます。オーストラリア中央銀行は、商品市況の停滞により成長率の減速が続く中で、2016年央には利下げを再開すると予想しています。商品市況下落の余波から企業は設備投資にかなり慎重なままで、更に国内住宅市場の停滞が続いており、2016年のGDP成長率は緩やかな減速を見込んでいます。今後も引き続き、オーストラリアドル建ての国債、政府機関債、社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

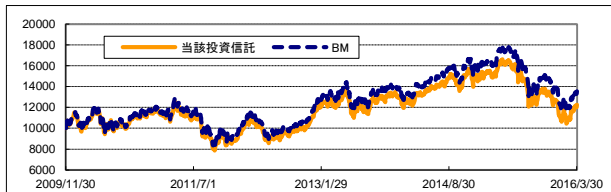
ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

- ・「特別勘定 新興国株式型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定> [2016年3月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年11月30日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定>
 【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的に新興国の株式市場(MSCIエマージング・マーケット・インデックス[®](円ベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外貨建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。

※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート・エマージング株式インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲11.99%	▲2.80%	▲0.03%	▲19.89%	0.32%	22.45%
BM	▲12.22%	▲2.21%	1.62%	▲17.12%	5.35%	35.59%
差	▲0.23%	▲0.59%	▲1.65%	▲2.76%	▲5.03%	▲13.14%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年11月30日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス[®](円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産配分比率

	マザーファンド
外国株式	89.33%
株式先物	10.56%
短期金融資産等	0.11%
合計	100.00%

○国/地域別構成比率

順位	国名	マザーファンド
1	中国	21.57%
2	韓国	14.07%
3	台湾	11.16%
4	株式先物	10.56%
5	インド	7.11%
6	南アフリカ	6.35%
7	ブラジル	5.82%
8	メキシコ	4.15%
9	その他の国/地域	19.11%
10	現金等	0.11%
	合計	100.00%

○セクター別構成比率

順位	セクター	マザーファンド
1	金融	24.94%
2	情報技術	18.68%
3	株式先物	10.56%
4	一般消費財・サービス	8.58%
5	エネルギー	7.17%
6	生活必需品	7.05%
7	資本財・サービス	6.16%
8	電気通信サービス	6.11%
9	その他のセクター	10.64%
10	現金等	0.11%
	合計	100.00%

○組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	情報技術	半導体・半導体製造装置	3.04%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.03%
3	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	2.62%
4	CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	電気通信サービス	1.66%
5	NASPERS LTD	南アフリカ	一般消費財・サービス	メディア	1.37%
6	CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	中国	金融	銀行	1.37%
7	INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA LTD	中国	金融	銀行	1.03%
8	ALIBABA GROUP HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	1.00%
9	HON HAI PRECISION INDUSTRY CO LTD	台湾	情報技術	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	0.92%
10	INFOSYS LIMITED	インド	情報技術	ソフトウェア・サービス	0.85%
	合計				16.89%
	組入銘柄数				389銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■運用環境

当四半期の新興国株式市場は、原油安や世界的な景気減速懸念を背景に2月上旬にかけて下落基調となりましたが、その後は原油価格の持ち直しや米欧の金融政策への期待感からリスク選好の動きが強まり上昇しました。1月は、市場予想を下回る中国経済指標などを背景とした中国株の大幅下落や人民元安、原油価格の下落などから投資家のリスク回避志向が強まり中旬にかけて大幅下落となりました。下旬に入ると、欧州中央銀行(ECB)総裁が追加緩和に言及したことや、原油価格の持ち直しが好感され反発しました。インドネシア市場では、中銀が政策金利の引き下げを発表したことや、政府の景気対策への期待感から小幅上昇となりました。2月は、前半は原油価格の下落や世界的な株安を背景に軟調に推移しましたが、後半に入るとロシアやサウジアラビアなどによる原油生産水準の凍結合意にイランが支持を表明したことを受けて原油価格が上昇したことを背景にUAEやカタール、ブラジル市場などで上昇しました。3月は、原油価格の上昇や中国・欧州の追加緩和、米連邦公開市場委員会(FOMC)で年内の金利上げが2回に下方修正されたことを受けた投資家のリスク許容度の高まりを背景に上昇基調となりました。ブラジル市場では、原油や金属価格の上昇を背景に資源関連株を中心に上昇しました。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

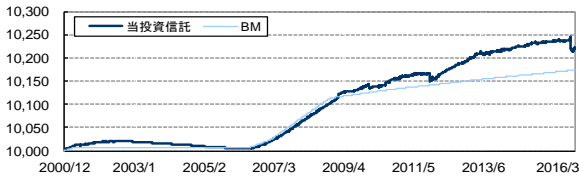
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2016年1月～2016年3月）

- ・「特別勘定 金融市場型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募) [2016年3月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲0.07%	▲0.16%	▲0.15%	▲0.10%	0.20%	2.22%
BM	▲0.00%	0.01%	0.03%	0.06%	0.20%	1.73%
差	0.07%	▲0.17%	▲0.17%	▲0.16%	▲0.01%	0.49%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁹⁾により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	1.02年	90.73%
国債	0.00年	0.00%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	0.00年	0.00%
金融債	0.00年	0.00%
社債等	1.02年	90.73%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等	0.02年	9.27%
CD		0.00%
CP		0.00%
T-Bill		1.67%
コールローン		0.00%
その他		7.60%
合計	0.93年	100.00%

○公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	31.42%
A	44.21%
BBB	24.37%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:※ 海外格付機関の格付を優先します。

※ コールローンは格付別構成比率には含めていません。

(公社債の格付別構成比率と短期資産等の格付別構成比率の合計が100%になります。)

※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付を採用します。

※ T-Bill等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。

※ T-Billに分類された1年未満の国債については「○公社債の格付別構成比率」に含めています。

※ 「T-Bill」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○短期資産等の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
P-1	0.00%
P-2	0.00%
P-3	0.00%
無格付	0.00%
合計	0.00%

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比▲0.16%、一方、ベンチマークである日本円無担保コールオーバーナイト物レートは前四半期末比+0.01%となりました。日銀の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」による需給の引き締まりを受け、当四半期末の2年国債利回りは前四半期末比0.175%下落のマイナス0.184%となりました。

委託会社は、国内債券市場が日銀の金融緩和と政策によって引き続きマイナス圏で推移するとみています。今後の運用方針として、年限の短い国債への投資で流動性を確保しつつ、国債の組入れを減らしてクレジットリスクの低い社債へ投資して、安定した運用と利回りの向上をめざす方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

用語説明

- *1 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。
- *2 「NOMURA-BPI総合指数」とは、日本国内で発行される公募固定利付債の流通市場動向を的確に表すために、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数です。NOMURA-BPI総合指数は野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当特別勘定の運用成果等に関し、一切責任はありません。
- *3 「シティ世界国債インデックス」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティ世界国債インデックスに対する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- *4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *5 「MSCIコクサイ指数」とは、MSCI Inc.が日本を除く世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- *6 「シティ世界国債インデックス(円ベース)」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- *7 「ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス」とは、ブルームバーグが算出・公表する指数で、オーストラリアの債券市場の値動きを表す代表的な指数です。当該インデックスに関する知的財産権およびその他一切の権利はブルームバーグ エル・ピーに帰属します。
- *8 「MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の株式の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。「MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス(円ベース)」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- *9 日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁹⁾について。コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの保険です。特別勘定資産の運用には、資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク、為替リスク、派生商品取引のリスクなどがあり、ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

＜保険料払込時および保険期間中にかかる費用＞（以下の各費用の合計額をご負担いただきます。）

●保険関係費

保険契約の締結、維持などに必要な費用を主契約の保険料から控除します。保険料からこの費用を控除した金額を特別勘定に繰り入れます。また、特別勘定に繰り入れた後に、死亡保障などに必要な費用を積立金額から定期的に控除します。なお、上記の費用は、被保険者の年齢、性別などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。契約条件に関する特約（08）を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます。特別保険料は特別勘定では運用いたしません。特別保険料は契約条件・特別条件承諾書でご確認ください。

●運用関係費

項目	費用(投資信託の純資産に対して)	ご負担いただく時期
運用関係費	安定成長バランス型 : 年率 0.53676%程度 (税抜:0.4970%程度) * 1	特別勘定にて 利用する投資信託において、 毎日、 投資信託の純資産額から 控除します。
	積極運用バランス型 : 年率 0.59454%程度 (税抜:0.5505%程度) * 1	
	日本株式プラス型 : 年率 1.02600%程度 (税抜:0.9500%程度)	
	外国株式プラス型 : 年率 0.54000%程度 (税抜:0.5000%程度)	
	世界債券プラス型 : 年率 0.70200%程度 (税抜:0.6500%程度)	
	オーストラリア債券型 : 年率 0.33480%程度 (税抜:0.3100%程度)	
	新興国株式型 : 年率 0.54000%程度 (税抜:0.5000%程度)	
金融市場型 : 年率 0.03510%~0.49680%程度 (税抜:0.0325%~0.4600%程度) * 2		

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬のほか、信託事務の諸費用など、有価証券の売買委託手数料および消費税などの税金などの諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

* 1 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

* 2 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

※ 安定成長バランス型、積極運用バランス型および外国株式プラス型の運用関係費は、2015年4月に新たに投資することになった投資信託の信託報酬率を元にしたものです。2015年5月26日に償還された投資信託の信託報酬率を元にしたものは以下のとおりです。

安定成長バランス型: 年率 0.63396%程度 (税抜:0.587%程度)、積極運用バランス型: 年率 0.76464%程度 (税抜:0.708%程度)、外国株式プラス型: 年率 1.02600%程度 (税抜:0.950%程度)。

＜解約時にかかる費用＞

●解約控除

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日における保険料払込年月数が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数により計算した額	解約日の積立金額から控除します。

※ 解約控除額は保険料払込年月数、契約年齢、保険期間などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。

※ 基本保険金額を減額されたときは、減額分は解約されたものとしてお取扱いします。

※ 保険料払込年月数が10年未満の場合にユニット・リンク払済保険への変更などをされる場合にも解約控除がかかります。

＜積立金の移転に関わる費用＞

項目	時期	費用	備考
積立金 移転費用	積立金の 移転時	【書面による移転申込みの場合】 月1回1,500円、2回目からは1回につき2,300円	毎回の移転について積立金から控除します。
		【インターネットによる移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき800円	

※ 積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

＜年金払特約(06)、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用＞

項目	費用	ご負担いただく時期
年金 管理費	年金のお支払いや管理などに必要な費用 年金額に対して 1.0%*	年単位の契約応当日に責任準備金から控除します。

* 3年の確定年金の場合、年金額に対して0.99%

※ 年金管理費は、将来変更される可能性があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>